

自己評価票

(個別表)

【事業者名称】 やすらぎの里永源寺

年 月 日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人その人を見つめ、らしさを追及し自然に地域で生活をしてきた。今後もそのような空間を目指し努力して行きたい。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内数箇所に、掲示して日常的に見つめ、認識。恥じないように努力している。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	面会者や、訪れた方の、目に付くように施設内に掲示している。	○	年3回の広報や一ヶ月の様子と共に、理念の郵送を行い更なる浸透を試みる。
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	「お隣さん。」という気持ちを持ち、利用者さんを含めお天気の良い日に、お出合いしたときに挨拶、立ち話などが出来ている。		
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	やすらぎの里永源寺牧場や図書館、買い物等、一緒に住民参加が、自然に出来るような場所へ行き交流が出来ている。	○	行事等の、ボランティア参加を依頼する。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	やすらぎの里永源寺牧場、野菜作りなどを、地域に向けてアピール活動を行い年齢差を超えて交流が生まれてきている。	○	法人の牧場での交流を通じて、輪を広げて行きたい。
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	利用者さん本意を忘れることなく、全職員が自己評価に取り組んでいる。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設以外の方の意見や思い、情報などを聞かせていただき、日常生活の中に、生かしている。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営委員会の、メンバーに参加して頂き、必要時には、電話や出向いていき、連携調整が出来ている。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用している方はおられないが、権利擁護に研修会に参加しており、必要時には、利用してもらえるように知識としての勉強は出来ている。		
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	気付かない拘束や、虐待をしていないか？ケース検討会で、話し合っている。研修会にも参加している。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に説明、納得をしていただいております。不明点が生じれば、面会時など、いつも相談に応じます。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自分で、発することが出来ない利用者もおられ、日常生活の上で、しぐさや動作の中から、訴えに気付けるように努力している。	○	利用者さんに、聞き取りアンケートの実施を行う。
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	一ヶ月毎に(様子のお知らせ)・四ヶ月毎に(広報)の発行。定期外に必要なあれば、連絡相談を行い、指示をいただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートの実施や、代表家族に運営委員会に参加してもらっている。		
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の職員会議で意見を出してもらい検討している。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前に希望休日の提出を行い、急な休日等にはパートさん数名が、待機されているので安心して、休日が取れる。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	他部所の職員も入居者の状況を把握しており、日頃から、交流をしている。		
理念を实践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全員参加の内部研修の実施と、外部研修にも順次参加している。	○	月1回の内部研修をしている。
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事例検討会やグループホーム部会等に参加交流、意見交換をしている。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休みたいときに休日が取れる様な、配慮がある。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員が、それぞれの担当を持ち、責任を持って仕事に従事している。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の困っていること不安なことを把握し、その場に慣れてもらう為に、施設内見学をしてもらっている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族との話し合いに、十分な時間を取り、納得されてからの、入所に至る様にしている。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談面接時にニーズ察知するように努め、その方に合ったサービスをお知らせしている。	○	サービスの種類が理解できないで来られた方には、相談を受け他の事業者の紹介を行った。
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が、ホーム生活に慣れるまでの間は家族と共に入居していただいている。	○	入居が心配で離れられない利用者さんが居られ、親子で宿泊をされ、見届けて安心して自宅へ帰られた。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なことをしてもらえるように支援している。また日常生活の中で人生の先輩としての知識を教えてもらっている。	○	交流の中から、気づきを大切にしている。
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	事有る毎に電話連絡を行い、一緒に相談決定を行い進めている。		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	盆、年末年始当に、外泊を進めて、家族とのよりよい関係が気付いてもらえるよう勤めている。	○	家族は「利用できた。」終わりじゃなしに悩み続けておられる事を、理解して接している。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	利用者の友達、近所の人気が来られ ている。なじみの場所へ、一緒に出掛け ておられている		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	複数箇所での利用者同士の居室訪問が 行われている。食堂での座席配置にも配 慮している。	○	複数者が揃っておられるときには、見 守り察知努力を行い、空気を見て、橋 渡し役を行う。
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	転居された利用者さんは居られないが、 公共施設に広報をおかせてもらい、行事 等を周知してもらっている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、本人の発する言葉や態度から、把握できるように努めている。家族と相談を行い、本人にとって良い方法を検討している。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の家族や友人が来られたときに、聞くように努めている。	○	面会された時に、家族からのお話を聞くようにしている
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者個々の言動や生活リズムから、把握している。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人家族から意向を聞き、アセスメント、ケース検討会を行い計画作成をしている。	○	生活歴や、なじみを聞き取り介護計画に反映させたい。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化やニーズを察知毎に、職員会議で、ケース検討会を行い見直し作成を行う。	○	体調の変化やニーズを察知毎に、職員会議で、ケース検討会を行い見直し作成を行う。
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援、介護共に個別に記録を行い、全職員が必要時には確認が出来るようにしている。	○	気付きがあれば、職員連絡ノートの記入閲覧、実行、評価を行っている。
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その日のメニューが決定していない為にその日の天気や状況に応じて、利用者にとって適切なケアをしている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的な、警察や日赤奉仕団の訪問により交流により、利用者の把握をしていただいている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は、必要がない。	○	必要が出来たときに支援を検討する。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は行っていないが、支所の担当職員とは、いつでも相談できるようにしている。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回往診してもらっている方や、定期受診の方や希望に応じて、かかりつけ医の受診も行っている。体調不良時には、随時受診を行っている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	症状が固定している為に、地域の認知症に詳しい医師に診察をしてもらっている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師に相談をしながら健康管理、医療支援している		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している			
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期はご自宅でとお願いしているが、重度化してきても入所施設もなく、なじみの地域密着のために移動された方は、誰もいない。	○	早い時期から、介護と医療の施設の違いを説明して家族、利用者にあった施設選択が出来るように支援していきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療処置等がで来ない為に、医療管理が必要になられた時に当施設では行えない。	○	当施設の、役割を理解していただけるように早い時期から家族にも話してその方に合った環境への話をしていきたい。
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	開設以来、対象者は居られない。	○	必要が生じたときには、最良の方法を検討していきたい。
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	居室のノックや、声かけを徹底している。記録等は、スタッフルームにて行っている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	決定した声かけでなく、利用者さんに、選択していただけるような声かけを行うように努めている。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さんのその日の気分や天候に合わせて「今日は、何をしましょうか？」と声をかけ相談して決定している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現状は、近所の理髪店に出掛けている。利用者の希望があれば、馴染みの理髪店に行く。	○	家族や利用者の希望により他の美容院の利用も行う。
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が利用者と一緒に食事の準備や後片付けをしている。	○	天気の良い日には、ベランダでおやつや、昼食を摂る日がある。
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	面会に来られた家族や友人からのお土産は、居室にて自己管理がされている。	○	嗜好調査を実施予定している。
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間を決めてトイレ誘導を行いトイレ内で排泄が行えるようにしている。水の音やウォシュレットで、刺激を与えトイレ排尿に心がけている		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まっているが、順番づけは決めていないので声かけ、納得される順番での入浴を行っている	○	柚子や、自然の花等を湯船に、浮かし入浴を楽しんで戴いたりしている

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中はいろいろと、その人にあった仕事をしていただいている。規則正しい生活が行えるよう努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人にあった出来る仕事をしていただいている。掃除、調理、畑仕事など。	○	等法人の牧場へ出かけ、動物や人との交流をされている。雨の日には食堂から、牧場を心配そうに眺めている。
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は利用者本に行っている。お店で買い物されたレシートは個人のノートに貼り付け管理している。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑作業、ドライブといった外出は、利用者本人の気持ち、状況に応じて出掛けている。	○	気分や空気を見計らい、ドライブに出かけたり、体を動かすことで気分を転換をしていただいている。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	前もって計画を立てて利用者全員が外出できるように心がけている。	○	お花見や、紅葉など、四季感有る行事を通じて行っている。
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が、電話で話されたり、手紙がくると本人に必ず返事を書いていただいている。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも、気軽に訪問していただけるよう玄関は開けている。訪問時間は制限がない。	○	訪問者さんには、気持ちよく感じていただけるように気をつけて挨拶や笑顔を心がけている。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行っていない。職員会議でお互いに確認をしており、資料の配布、スタッフルームにも資料を貼っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に、センサーチャイムのみで対応している。	○	不穏や外出願望を察知したら、職員間で連携プレーで、ドライブ等で気分を転換していただいている。
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見通しよく目の届く場所に職員がいる。居室へ戻られた場合、適時訪室を行っている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一般の家庭と同じような物が自然に置かれているが、危険性のある物については、細心の注意を払っている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	薬については、日付と名前を確認して、一時分けをBoxで行い、さらに日ごとに分けて、手渡し時には再度名前と、日付の確認を行い、三重に、チェックを行っている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員が消防署へ行き応急手当や心配蘇生法を学んだり、個々に緊急連絡表を作成して誰でもが直ぐに活用できる場所に配置している。		ほとんどの職員が救命救急の講習を終えている
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難訓練の実施は年2回行っている。隣の住人にも参加をお願いしたり、出会ったら、お願いをしている。拡声器を設置して近隣へ発声する手はずになっている。	○	有事には、ご近所さんに、応援に駆けつけて頂けるように、サイレン付き拡声器の設置をおこなった。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクの高い方については、家族に説明、納得をいただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化に気付いたとき、その日の職員と話し合い対応している。かかりつけ医に連絡して、往診や受診をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	保管、管理、セツは職員が行い朝、夕のBOX分け、色分けと服薬事には氏名、日付確認をしている。最後の薬剤情報のコピーは保管庫の前にぶら下げている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日常的食事の中で水分、芋、バナナ、乳製品食物繊維の多い食品の摂取に気配りしたメニューを取り入れている。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人一人が朝夕の口腔ケアをされており、洗面所に置かれている義歯確認をさせていただいている。自己ケアが、出来ない方には支援している。	○	かかり付け、歯科があり、訪問治療や受診を行い、口腔ケアや指導をして戴いている。
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取の記入確認を行っている。体調不良時や特に必要な場合は特別に、記入用紙を設け快復まで詳細に記入を行っている。	○	特別な場合は、小まめに記入、補給チェックをして管理している。
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員、利用者と共に予防には重点をおいている。状況の変化のある場合は早期発見で対応できるようにしている。		色々な職員研修会に参加している
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	賞味期限のチェックを行い、極力、生ものの提供をさけている。ポイル等で工夫している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	自動ドアと大きな透明ガラスで内部が見え生け花やプランターを設置ベンチ等を置いている。食堂のカーテンが開いているので、親しい方はベランダから声かけを		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には1枚ガラスになっていて外の景色が良く見えるようになっている。玄関周りには季節花を植えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その日の気分に合わせて居室で過ごされていたり、皆さんと交流を楽しまれたりしている。時にはテーブルの座る場所にも気配りをしている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使っておられた筆筒、ベット等もってこられ、使用されている。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天候の良い日は、窓の開閉を行い職員がこまめに聞き取り、調節を行っている。冬季には乾燥対策として加湿器を使用している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食堂以外の動線には手すり等が取り付けられている。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	傾聴、気持ちの理解、見極め出来るように努力している。	○	日常的に交流を通じて気持ちの理解ができるよう努めている。
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	くつを履き替えないでベランダに出られるようになっており、自由に外気浴が出来るよう椅子等が置いてあり、天候の良い日には昼食も食べたりしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

心のケアを重点に考え、当法人の牧場でアニマルセラピー（羊）を利用者さんや地域の家族さんと楽しい日々を送っております。

評価結果整理表

個 別 表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5.	<input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4)	<input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

公道やホームから見えるところに、牧場を作り、羊を飼い、菜の花を植え季節の野菜畑を作り、利用者さんと散歩や、羊の餌やり、野菜の収穫、お弁当を持って行き楽しんでいる間に、地域の方の目に止まり、子供連れの方が、自宅から羊の餌を持ってきてくださったり、通勤途中の方から声を掛けてくださったり、野菜作りの得意な方に作り方を指導して頂いたり自然な形で交流が芽生えてきている。牧場から地域に向けて発信を行い地域に根ざし気楽に遊びにきて貰えるようなホームでありたい。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

グループホームの、特性が合う方に、利用して戴けるように、初期段階で充分に、お話を聞かせて頂いている。ご本人や家族様に、不安や不利益が生じないように気をつけて対応させていただいている。御利用後も、安心して継続していただけるように、連絡、相談、調整を小まめにさせていただいています。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

家族や利用者さんの傾聴を行い、その人を見つめなおし再アセスメントを行い、話し合いその人にあった介護計画を作成して、より良い生活をしていただきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

介護度にレベル差が出てきている中で、利用者さんが意見を出し、決定、計画、実行が出来楽しく暮らし続けられるホームであるために、利用者さんを見つめ気づき力や添った支援力が、身につくように職員が研修や、日常生活から勉強させて頂きその人の生活が送って貰えるようにしたい。

V サービスの成果に関する項目について

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホームやすらぎの里 永源寺

評価年月日: 22年 5月 31日

前回評価年月日: 21年 5月 27日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
Ⅲ-4, 47	1	重度化終末期に向けての 検討	H22年6月～ H23年5月	・終末期に向けて、家 族との話し合い。 ・終末期に向けて介 護職員で見られる範 囲確認と話し合い。		H23 年5月
I-5 -19	2	職員を育てる取り組み	H22年6月～ H23年5月	・月1回の内部研修 の実施 ・積極的な外部研修 の参加		H23 年5月